



世界一やさしい
クリニック開業ガイド

監修・著 関根裕司

Close up!

専門性が高く難しいと思われがちなクリニックの設計。でも実は、建築主である医師も設計者への発注方法が分かっていないのだという。これまで多くのクリニックの建築を手がけ、今回「世界一やさしい クリニック開業ガイド」を監修された、ARBOS一級建築士事務所代表取締役の関根裕司氏に、クリニック設計のツボを聞いた。

「聞き手・編集部」

「『クリニック開業ガイド』は、どのような思いでまとめられたのですか
開業を志す医師は勤務医の方が多く、医療機器の価格や資金の工面の方法はもとより、一緒に働くコメディカルがどのような仕事をしているのかすら、実はあまり把握していません。しかし、開業には多くの情報や知識が必要のため、勢い、雑誌広告などで開業サポートをうたっているハウスメーカーや内装会社に、手っ取り早く相談することになるのです。」

一方、クリニックの開業を手伝った経験のある設計者は多くないため、その建築に必要な情報・知識を持ち合わせている方が少ないのも事実です。そこで本書では、クリニック建築に不慣れた医師と設計者が、共通言語をもつための情報をまとめました。

「医師と設計者が共通言語をもつための情報とは、具体的にどのようなものでしょう」

たとえば、「機能イメージ」づくりに必要な情報です。胃がん検診を行う場合、バリウムの服用+レントゲン撮影のほうが検診者の費用負担が少なく、市町村の検診でも助成を受けやすいのですが、最近の患者さんには内視鏡のほうがニーズが高い傾向にあります。ただし、レントゲンと内視鏡の両方を導入すると2千万円近くかかりますし、レントゲンと内視鏡とは、準備すべき電気容量や必要なスペースもまったく異なります。このように、クリニックにどのような機器をそろえ、どんな機能をもたせるかのイメージづくりは、医師も大いに悩むところです。そこで本書では、主要な機器の大きな電気容量、コストや寸法の情報、

必要となる付室の情報などを提示し、設計者と医師が機能イメージを共同で構築しやすいようにしています。

「『クリニック開業ガイド』では、タイプ別のクリニック事例も巻頭カラーで紹介していますね」

建築主の満足度を重視する住宅とは異なり、クリニックの設計では地域に受け入れられて「はやる」ためのデザイン提案をすることが大切です。また、スタッフが効率的に動けるための内部動線などの機能性ももちろん重要になります。巻頭のカラー頁に掲載した事例は、デザインと機能性を兼ね備えた人気のクリニックの例です。本書には、巻頭カラーに限らず分かりやすさにこだわって、「クリニックならではのポイント」を満載しました。この1冊で、「クリニック建築の基礎知識」を十分理解いただけたらと思います。



関根 裕司 [せきね・ゆうじ]

ARBOS一級建築士事務所代表取締役。クリニックの建築を中心に手がけ、現在は年間15~20件のクリニックを設計する。独立当初は医療機器メーカーが集中する東京・本郷に事務所を構え、各社のショールームに出向くなどして知識を得たという。「クリニックを設計するには、医療界の情報入手などの努力も必要です」(関根氏談)。
URL <http://www.a-r-b-o-s.co.jp>

世界一やさしい
クリニック開業ガイド

監修・著 関根裕司
著 村口正樹 / 湯沢勝信 / 大坪浩二 / 井上明法
定価 4,410円(税込)
判型・頁数 A4判 296頁
ISBN978-4-7678-0917-5

注 書店によっては、「建築」コーナーではなく、「医療経営」などのコーナーに置かれていることもあります

今月の書店

丸善・丸の内本店
(東京都千代田区)

2004年、丸の内再開発の一環として東京駅丸の内口の前にオープンした複合商業施設「丸の内オアゾ」。その一角に4フロアを占める大型書店が誕生した。それが今回ご紹介する丸善・丸の内本店である。

創業は明治2年、輸入販売を中心に言う商社として出発。創業者は早矢仕的が医師であったため、当時は、薬品や医学書籍などの取り扱いが主だった。ちなみに早矢仕氏は、洋食の「ハヤシライス」の考案者でもある。

3階の奥にある建築書売場は、床から天井まで本がびっしりと並び、天井近くの棚にある商品は来店者が自ら梯子に上って手に取るスタイルだ。まるで外国の図書館のような洒落た雰囲気である。約5年分が揃えられた「建築知識」のバックナンバーも梯子に上って



東京都千代田区丸の内1-6-4丸の内オアゾ1~4階
東京駅より徒歩1分・地下鉄大手町駅より徒歩5分
TEL: 03-5288-8881
営業時間: 9時~21時

手に取っていただきたい。本誌が発売される6月下旬は、「第6回土木・建築図書特別展示即売会」が開催中。「定番からおすすめの新刊書まで数多く取り揃えていますので、ぜひお立ち寄りください」と、建築書を担当している書店員の小林文子さんは話す。もちろん「ハヤシライス」も4階カフェで食することができるので、ぜひお試しを。 [編集部]